



高い積載重量とコンテナ空間の有効活用を同時に実現

## キューピー、サンスター、日本パレットレンタルの3社による共同輸送を開始します

2019年7月18日(木)から本格稼働

キューピー株式会社

キューピーは、7月18日(木)から、サンスター株式会社(代表取締役:吉岡貴司、本社:大阪府高槻市、以下サンスター)と日本パレットレンタル株式会社(代表取締役社長:加納尚美、本社:東京都千代田区、以下JPR)の3社共同で、トラックと船舶を組み合わせた共同輸送を開始します。モーダルシフトによるCO<sub>2</sub>排出量削減はもちろん、キューピーとサンスターの重量の異なる商品を組み合わせることで、効率的な物流を実現します。

### 関西・九州間で、業種を越えた共同輸送を開始

共同輸送を実施するのは、関西と九州をつなぐ輸送ルートです(キューピーおよびサンスターが関西から九州へ、JPRが九州から関西へのルート)。この一部を船舶に置き換え、往路はキューピーとサンスターの荷物を混載し、復路はJPRの輸送用レンタルパレットを積載することで、輸送効率を高めます。混載の対象商品は、マヨネーズやドレッシングなどの調味料とハミガキやハブラシなどのオーラルケア製品です。

### 高い積載重量とコンテナ空間の有効活用を同時に実現

マヨネーズやドレッシングなどの重量品を輸送する場合、最大積載量<sup>※1</sup>を満たしても、コンテナの空間が余ってしまう場合があります。一方で、ハブラシのような軽量品は、コンテナいっぱい積み込んでも最大積載量を満たさない場合があります。今回の取り組みでは、従来それぞれ手配し



キューピーとサンスターの商品をうまく組み合わせ、13メートルセミトレーラー(20トン)を満載にする

ていた10トン車を20トンの13メートルセミトレーラーに変更しています。重量品と軽量品を組み合わせることで輸送することにより、コンテナ空間を有効活用し、より多くの荷物の輸送に成功しています。

※1 最大積載量:車両が安全に走行するために積載できる荷物の限度重量。

## 輸送ルートへのマッチングにより実車率 99%※2を実現、CO<sub>2</sub>排出量は 65%低減

この取り組みでは、3社の物流拠点を効果的に回することで、約 99%の高い実車率を実現できます。また船舶へのモーダルシフトや輸送の効率化により、個社単位での輸送と比較し、CO<sub>2</sub>排出量が 65%低減します。併せて、長距離の陸送がなくなることで、ドライバーの年間の稼働時間が 2,256 時間削減できると想定され、労働環境の改善効果も期待できます。

※2 実車率：総移動距離のうち実際に貨物を積載して移動した距離の比率。本取り組みでは、全行程 1,169km のうち空車は 7km。

キューピー、サンスターおよび JPR は、2018 年 11 月から共同輸送の検討を開始しました。2019 年 1~6 月のテスト期間を経て、7 月 18 日(木)から本格的に開始します。

キューピーは、2018 年 8 月にキューピーとして初めて、業界を越えた共同幹線輸送を開始しています※3。また直近では、お盆や年末、ゴールデンウィークなどの繁忙期を中心に、取引先である卸売業の協力を得ながら、商品の翌々日配送や検品の簡素化にも取り組み、物流の効率化・ドライバーの労働環境の改善など、物流業界の課題解決に力を入れています。キューピーは今後も、持続可能な物流網の構築を進めることで、課題解決に貢献していきます。

※3 キューピーアヲハタニュースリリース 2018 年 No. 50 参照

取り組みの概要は以下の通りです。

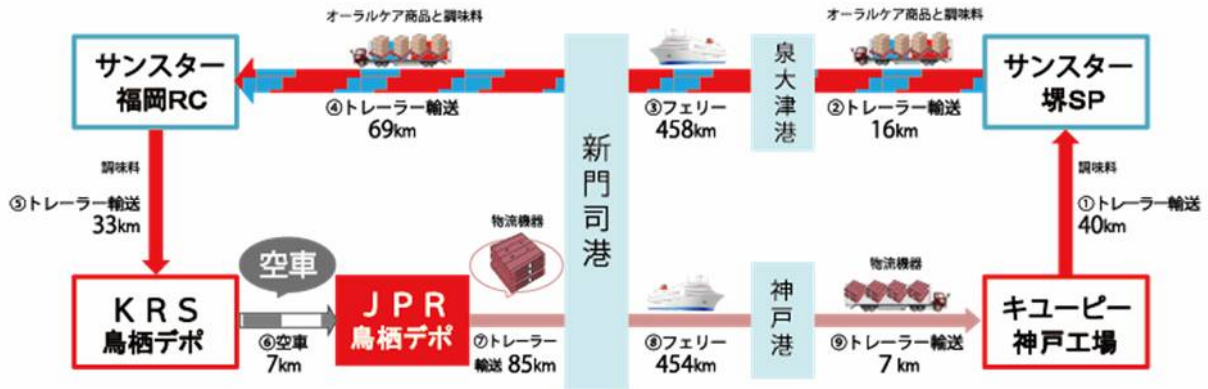
### 1. 運用フロー

従来



※4 KRS：株式会社キューソー流通システム(本社：東京都調布市)

今回の取り組み 3社が20トントレーラーを共用し、効率的に輸送

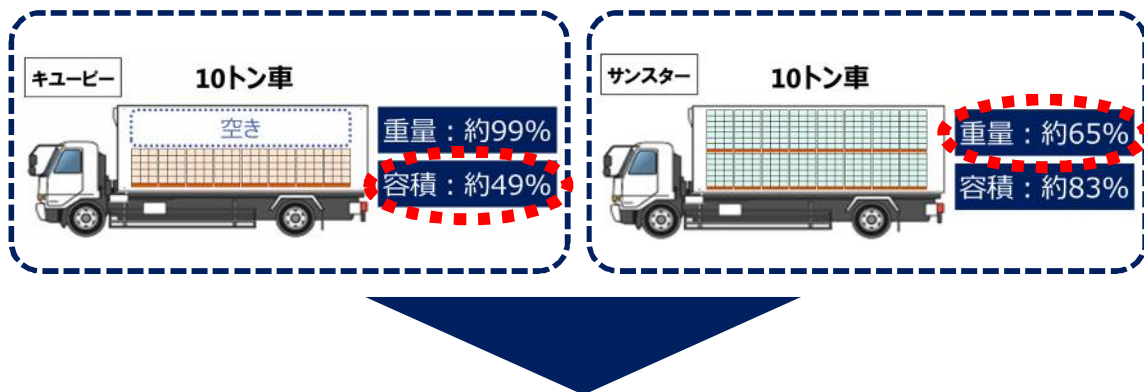


<物流会社について>

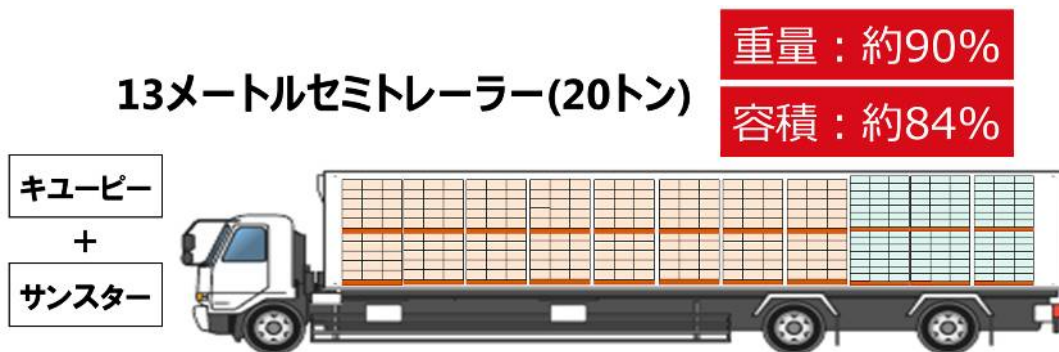
関光汽船株式会社（代表取締役社長：入谷一成、本社：山口県下関市）が全工程の輸送を手配し、海運については阪九フェリー株式会社（代表取締役社長：小笠原 朗、本社：福岡県北九州市）所有のフェリーで輸送を行います。

■積載イメージ（記載の数値は一例です。商品の構成によって変わります。）

従来 1社ごとの輸送では、重量や容積が有効活用できていなかった。



今回の取り組み 2社を組み合わせることで重量と容積の双方を有効活用



## **2. 積載対象商品**

キューピー：調味料（マヨネーズ、ドレッシングなど）

サンスター：オーラルケア製品（ハミガキ、ハブラシなど）

J P R：物流機器（輸送用レンタルパレット）

## **3. 本取り組みのポイント**

①高い積載重量とコンテナ空間の有効活用を同時に実現

②実車率 99%を実現、CO<sub>2</sub>排出量 65%低減

③3つの業種を越えた協働

## **4. 開始日**

2019年7月18日(木)から開始